

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成30年5月28日同時配布



平成30年5月28日  
国土技術政策総合研究所

## 「国内最大規模の交通ビッグデータの活用方策に関する共同研究」の成果報告会を開催します ～産学官の連携により、携帯電話基地局の運用データを 基にした「人の移動実態の統計処理」を可能に！～

国総研では、交通ビッグデータの一つである「携帯電話基地局の運用データを基にした人の移動に関する統計情報」を交通計画等へ適用することなどを目的に、平成26年度から株式会社NTTドコモおよび東京大学と共同で研究を行ってきました。この度、主な研究成果や実務での活用事例を紹介する報告会を開催します。

## 記

1. 日 時：平成30年6月11日（月） 13:00～16:10
2. 場 所：三田共用会議所（東京都港区三田2-1-8）
3. 主 催：国土交通省 国土技術政策総合研究所
4. 内 容：共同研究では、エリア間の「人の移動量」や「移動手段（飛行機、新幹線など）の割合」などを推計する手法を考案しました。報告会の前半では、このような研究成果を紹介します。後半では「交通計画において、都市内の人の移動量を出発地・到着地別に把握する」、「花火大会などのイベント時に、特定のエリアにいる人の数の変化を1時間単位で把握する」など、統計情報の活用事例を紹介します。詳細は別紙1をご参照下さい。
5. 定 員：130名（参加費無料、申し込み先着順）
6. 参加登録：参加ご希望の方は、6月8日（金）までに「nil-jyouhou{at}mlit.go.jp」宛てに御芳名、御社名・御所属、住所、電話番号、メールアドレスを記載して申し込みください（上記メールアドレスは「{at}」を「@」に変更して送信して下さい）。
7. 取 材 等：報告会当日に取材を希望される方は6月8日（金）16:00までに別紙2のFAX用紙にて申し込みください。
8. そ の 他：本報告会は土木学会認定CPDプログラム（3.0単位）です。

【問合わせ先】問合わせは、下記メールアドレス宛にお願いします。  
国土技術政策総合研究所 都市施設研究室長 中西賢也  
社会資本情報基盤研究室  
室長 関谷浩孝、主任研究官 糸氏敏郎（主担当）、交流研究員 北川大喜  
E-mail：nil-jyouhou{at}mlit.go.jp Tel：029-864-4916 Fax：029-864-2214  
※上記E-mailは「{at}」を「@」に変更して送信して下さい。

「国内最大規模の交通ビッグデータの活用方策に関する共同研究」※の成果報告会  
 ～産学官の連携により、携帯電話基地局の運用データを基にした「人の移動実態の統計処理」を可能に！～

主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所  
 協力：（共同研究実施機関）株式会社NTTドコモ、東京大学



土木学会認定  
CPDプログラム

日時

平成 30 年 6 月 11 日（月）  
13:00～16:10（受付 12:30～）

会場

三田共用会議所  
3F 大会議室 A～E

第Ⅰ部は、平成26年度～平成29年度に実施した共同研究の成果の概要を中心に説明します。  
 第Ⅱ部では、携帯電話基地局の運用データを基にした人の移動に関する統計情報の実務での活用事例を紹介します。

タイトル	発表者名	所属
開会の挨拶	関谷 浩孝	国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室長
<b>第Ⅰ部 「共同研究成果について」 13:10～</b>		
交通関連ビッグデータの効果的な活用のための視座	今井 龍一	東京都市大学 工学部 都市工学科 准教授 東京大学 空間情報科学研究センター 客員研究員
携帯電話基地局の運用データから生成される人口流動統計とは	池田 大造	株式会社NTTドコモ 先進技術研究所 社会センシング研究グループ 主幹研究員
共同研究成果の主な内容とポイント	新階 寛恭	(前)国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室長 (現)新潟市 技監 兼 都市政策部長
質疑応答		
休憩(約15分)		
<b>第Ⅱ部 「携帯電話基地局の運用データを基にした人の移動に関する統計情報の活用事例」 14:40～</b>		
人口分布統計の活用事例 ～イベント時の混雑情報の検討～	石井 良治	一般財団法人計量計画研究所 都市・地域計画研究室 研究員
人口分布統計の活用事例 ～訪日外国人の状況把握と観光客実態調査～	高野 精久	株式会社サーベイリサーチセンター 事業本部 調査部 調査部長
人口分布統計・人口流動統計の活用事例 ～バス事業の経営改善支援について～	小田原 亨	株式会社ドコモ・インサイトマーケティング エリアマーケティング部
人口流動統計の活用事例 ～福岡市ウォーターフロント地区への活用～	山田 敏久	株式会社福山コンサルタント 地域・交通計画グループ 課長補佐
人口流動統計の活用事例 ～ETC2.0プローブ情報と組み合わせた道路交通状況モニタリングの提案～	松島 敏和	中央復建コンサルタンツ株式会社 計画系部門 事業創生グループ サプリダー
質疑応答		
閉会の挨拶	越智 健吾	国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長

※プログラム内容は変更することがあります

会場アクセス	東京メトロ南北線または都営大江戸線 麻布十番駅 2番出口 徒歩5分 等
定員	130名（参加費無料、申し込み先着順）
参加登録	6月8日（金）までに申し込み先のメール宛てに御芳名、御社名・御所属、住所、電話番号、メールアドレスを記載して申し込みください。
問い合わせ先 申し込み先	国総研 社会資本情報基盤研究室 糸氏、北川 E-mail : nil-jyouhou{at}mlit.go.jp Tel : 029-864-4916 注1 「{at}」を「@」に変更して下さい。 注2 会場へのお問い合わせは、ご遠慮下さい。



※「携帯電話基地局の運用データに基づく人の移動に関する統計情報の交通計画等への適用に関する共同研究」共同研究の成果は下記 URL にて入手できます。

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryoutn/tnn1015.htm>

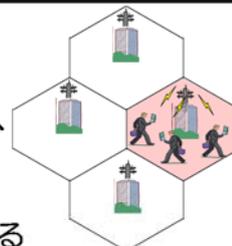
# 共同研究の概要

「携帯電話基地局の運用データに基づく人の移動に関する統計情報の交通計画等への適用に関する共同研究」

情報通信技術の進展により、交通ビッグデータに関して、様々な研究や実用化が進められています。そのうち、携帯電話基地局の運用データを基にした人の移動に関する統計情報を、交通計画等へ活用できるようにするためにNTTドコモおよび東京大学と共同研究を実施しました。

## 携帯電話基地局の運用データに基づく人の移動に関する統計情報(人口流動統計※1)とは

- 携帯電話基地局では、いつでもどこでも着信ができるように電波到達範囲毎に所在する携帯電話を周期的に把握しています。
- この運用データを基に人の移動に関する統計情報を生成することで、日本全国、広域な範囲にわたりエリア間を移動するトリップ数、時間帯ごとの移動人口、滞留人口がわかります。
- プライバシーを保護する非識別化処理、拡大処理、秘匿処理から成る3段階処理により生成される統計情報であるため、個人を特定することはできません。
- 国内の人口を推計する上でのサンプル数※2が多いため、統計的信頼性が高いことが特長です。
- 24時間365日データ生成可能であり、曜日・週・月変動がわかります。



※1 人口流動統計は、株式会社NTTドコモの登録商標であるモバイル空間統計の1つです  
※2 7,600万台の携帯電話に関する運用データから法人名義のものを除去して推計

## 研究の成果例

エリア間の「人の移動量」や「移動手段（飛行機、新幹線など）の割合」などを推計する手法を考案しました。

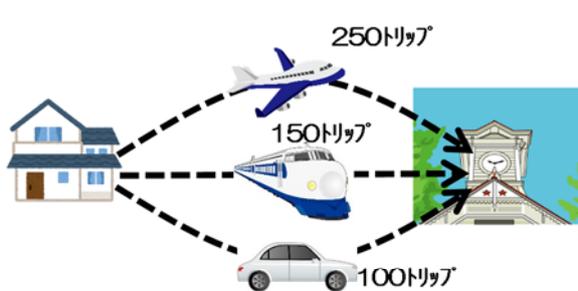
### トリップ数の推計手法等



### 移動経路の推計手法



### 移動手段の推計手法



### 移動目的の推計手法



## 共同研究の役割分担

共同研究では、国総研が人の移動に関する統計情報の活用シーン毎のデータ仕様案の策定や信頼性の評価等を、NTTドコモが携帯電話基地局の運用データを基にした人口流動統計の推計手法を、東京大学が人口流動統計の活用手法を担当しました。

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
社会資本情報基盤研究室 系氏あて  
FAX : 0 2 9 - 8 6 4 - 2 2 1 4

「国内最大規模の交通ビッグデータの活用方策に  
関する共同研究」の成果報告会  
の取材を申し込みます。

御芳名 : \_\_\_\_\_

御社名・御所属 : \_\_\_\_\_

住所 : \_\_\_\_\_

電話番号 : \_\_\_\_\_

メールアドレス : \_\_\_\_\_